

郡山きゅうりが5億円産地への挑戦を始めました！

～きゅうり振興GO!GO!運動～

県中農林事務所農業振興普及部

【背景・ねらい】

背景

郡山市では、水田等に高収益作物として園芸品目を導入し産地化を図っており、地域の主力品目であるきゅうりの作付面積は、近年、横ばい傾向である。しかし、産地の維持・発展のため新たな担い手の確保が喫緊の課題である。併せて、気象条件に左右されずに出荷量の拡大を実現させる施設化が求められている。

表1 きゅうりの作付面積と新規栽培者数の推移

	R2	R3	R4	R5
作付け面積(ha)	13	13	13	12
きゅうり新規栽培者数(人)	2	5	3	4

ねらい

県園芸振興プロジェクトの推進に加え、JA園芸ギガ団地構想にも連動した活動において、当地域の推進品目が「きゅうり」であることからJA福島さくら、郡山市、県(県中普及部)の**3者が連携・協力して足並みを揃えた生産振興を展開できる体制を整え、集中的に園芸産地(きゅうり)の育成を図る。**

【活動内容】

普及のコーディネート機能を発揮して、JA福島さくら、郡山市、県(県中普及部)を構成員とする郡山地域きゅうり振興プロジェクトチームを令和4年12月に始動させ3者が足並みを揃えて活動を実施した。

郡山地域きゅうり振興プロジェクトチーム

【スローガン】郡山きゅうり5億円産地への挑戦 設立 令和4年12月
～きゅうり振興GO!GO!運動～

【プロジェクト活動項目】

1 生産基盤の維持・強化

2 産地担い手の確保・育成対策

3 販売対策の強化

4 安全・安心及び環境と共生する農業の取組強化

プロジェクト発足以降、現在まで、活動内容のうち産地の基礎となる生産基盤、担い手の育成確保について重点的に活動を展開した。

1 生産基盤の維持・強化

▼補助事業活用（県園芸生産拠点育成支援事業等）による生産設備の施設化の推進

- ・ JAによるギガ団地説明会において、ゲリラ豪雨などの急な気象変化の影響を受け難く、長期安定出荷が図られる等のメリットを発揮できる施設化をきゅうりプロジェクトチーム構成員とともに推進した。



図1 説明会の様子



図2 建設中のハウス

2 産地担い手の確保・育成対策

▼青年等就農計画の達成等に向けた取り組み

- ・ 市及びJAと連携・協力して青年等就農計画の達成状況を確認し計画達成のための助言を実施した。
- ・ 新規就農者フォローアップリストによる重点支援を実施した。
- ・ 就農希望者の意向に応じて、きゅうりを**おすすめ品目**として提案活動を実施した。



図3 就農相談の様子



図4 栽培支援の様子

▼認定研修機関における基礎技術の習得支援

- ・ 認定研修機関となっている郡山市園芸振興センターで開催されていた「野菜栽培講習会」を「きゅうり栽培講習会」に重点化し、市センター職員及び普及指導員等が講師となり研修生や新規就農者、JA若手営農指導員（組合長選抜9名）等の育成を図った。

【活動の成果】

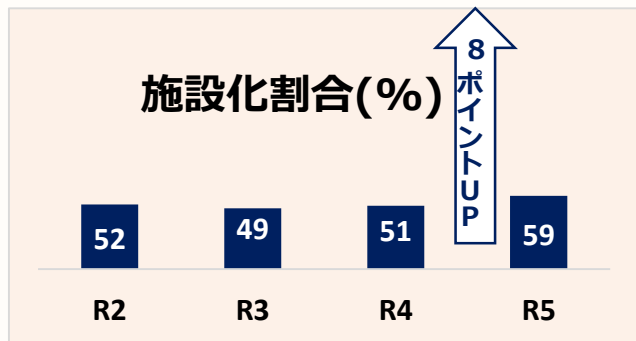


図5 施設化割合（きゅうり）の推移

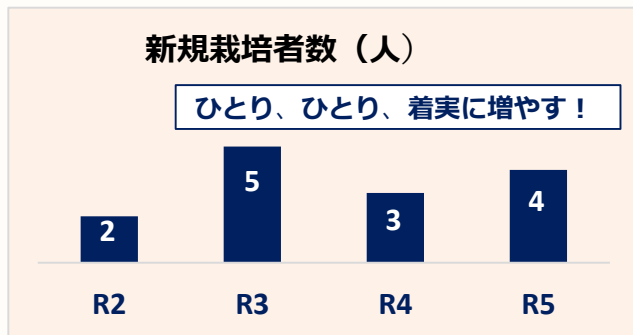


図6 新規栽培者（きゅうり）の推移

【今後の活動・方向性】

- ★ 「1. 生産基盤の維持・強化」 及び 「2. 産地担い手の確保育成対策」
チーム発足後に重点的に取組成果の上がった項目は、反復・継続して実施する。
- ★ 「3. 販売対策の強化」 及び 「4. 安全・安心及び環境と共生する農業の取組強化」
今後、力を入れて取組む項目は、3者が足並みを揃えて連携・協力しながら実施する。